

なかよし2組 生活単元学習指導案

なかよし2組教室 指導者 岡田 真理

1 単元 なかよしバンドえんそうかい ～「みんなえがお」になるように～

2 単元目標

- (1) なかよし2組の歌を作り、メロディやリズムを感じながら楽器の演奏をしたり、演奏会の司会をしたりすることができる。(知識・技能)
- (2) アイデアを出し合って歌を作り、演奏の仕方を工夫して練習したり、他の子の演奏を聴いてアドバイスをし合ったりすることができる。(思考・判断・表現)
- (3) なかよし2組の5人で協力しながら楽しく活動するとともに、なかよし学級や交流学級の友達との関わりを広げようとする。(主体的に学習に取り組む態度)

3 子どもと単元

本学級は自閉症・情緒障害学級で、6年生の児童A、4年生の児童B、2年生の児童C、1年生の児童Dと児童Eの5名が在籍している。5人は、好きな遊びやできることに違いがあるが、一緒に遊びたい、手伝ってあげたいという気持ちをもっている。また、児童A、児童Cは、リズム楽器を鳴らすこと、児童Bや児童Dは、歌ったり踊ったりすることが好きで、運動会のダンスにも意欲的に取り組んだ。児童Eは、言葉を発することが少ないが、楽器の音を出すことに興味を示し、曲に合わせて体を動かすことができる。1学期には、「みんなが楽しめて、みんなが活躍できる会にしよう」という目標を決めて、「なかよしたなばたかい」を開いた。なかよし学級の仲間を招待して、歌や演奏の発表やゲームなどで楽しく活動することができた。5人で作り上げる楽しさを感じ始めた子どもたちが、一緒に音楽を作り上げる活動をすることで、力を合わせて活動し表現する楽しさを感じ、表現力を高めさせたい。更に、なかよし学級や交流学級の仲間と披露することで、より広い人間関係を築くきっかけとすることができるのではないかと考えた。

本単元は、「なかよしたなばたかい」の活動を振り返ることで、「なかよし2組の5人で一緒にできて、5人みんなが活躍できること」をやりたいという子どもたちの思いから始まる。「音楽は5人が一緒にできる。」「たなばたのときの1組のFちゃんみたいに楽器をやってみたい。」「替え歌もよかった。」という意見が出され、「なかよしバンド」を結成して演奏会を開くことになった。まず、低学年の子にもなじみやすい「山のポルカ」を基に、考えを出し合って「なかよし2組の歌」を作る。そして、その歌をいろいろな楽器で演奏する。各学年の音楽の授業で学習したことを生かし、個人の力に応じて演奏を分担すれば、一人一人に活躍の場が生まれるだろう。発表会に向けて自分で演奏を工夫したり、一緒に練習して教え合ったりする姿に期待したい。楽器や歌での表現力を高められるようにするとともに、協力する楽しさを感じられるようにし、5人で活動する達成感や自信が得られるようにしたい。また、なかよし学級や交流学級の友達の前で発表することを目指す中で、挨拶や司会など言葉で話すことや、表情や姿勢も意識できるようにする。このような活動を通して、それぞれの学年の仲間や他学年への関わりを広げられるようにしたいと考えた。

本時は、「山のポルカ」をいろいろな楽器で演奏する練習をする。まず、2人と3人に分かれて発表し、それぞれの演奏や表情などについて、感想や意見を伝え合う。「ぐんぐんタイム」では、演奏に変化を加える新しいアイテムとして「熊手」を提示する。3本の爪で鍵盤を押さえることで、3つの音を出すことができ、リズム打楽器の感覚で和音の伴奏ができる。音の重なりを楽しみながら、より豊かな表現が可能になるであろう。また、交流会で歌の先生としてお世話になっているゲストティーチャーの伊藤さんからアドバイスをしてもらったり、一緒に演奏したりして、自分たちの演奏を見直すとともに、音楽の楽しさを感じられるようにしたい。

本単元を通して、仲間と一緒に練習して教え合ったり、演奏の仕方や発表の仕方を工夫したりすることは、学級の仲間と仲良くし、助け合うという道徳的心情を育むことができると考える。なかよし2組の5人で演奏する楽しさを感じながら、表現する力を伸ばすとともに、仲間と協力する大切さや、進んで表現しようとする姿勢を育みたい。また、なかよし学級から交流学級の仲間へと関わりを広げていけるようにしたい。

4 指導計画(9時間)

- (1) 好きな楽器を選んで演奏してみよう・・・・・・・・・・・・・・・・・・1時間
- (2) 「なかよし2組の歌」を替え歌で作ろう・・・・・・・・・・・・・・・・・・2時間
- (3) いろいろな楽器を使って、演奏の練習をしよう・・・・・・・・・・・・4時間(本時2/4)
- (4) 司会やあいさつなどの分担を決めて演奏会の練習をしよう・・・・・・1時間
- (5) なかよし2組音楽会を開こう(朝の会、のびのびタイムなど)・・・・1時間

5 本時の指導

(1) 目標 「山のポルカ」の曲を、音の重なるの面白さを感じながら、仲間と一緒に楽しく演奏することができる。

児童A……いろいろな音を出すことを楽しみながら、みんなと一緒に演奏することができる。

児童B……和音の響きを感じ、「山のポルカ」の演奏に取り入れることができる。

児童C……同時に3つの音を出す面白さを感じ、楽器を演奏することができる。

児童D……いろいろな楽器の音を出すことを楽しみ、曲に合わせて歌ったり体を動かしたりすることができる。

児童E……みんなと一緒にいろいろな音を出して楽しんだり、曲に合わせて体を動かしたりできる。

(2) 準備 教師 開 演 習 活 動 : キーボード 打楽器 おもちゃの熊手 楽譜 (拡大) 振り返り用紙

(3) 展 開 (45分)

段階	学習活動 (発問と予想される児童の反応・思考)	教師支援 (※評価)									
つかむ5分	1 本時の学習のめあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">なかよしバンドで「なかよし2組・山のポルカ」を演奏しよう。</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・6年生と4年生をリーダーとして2つの組に分けることで互いの演奏を聴き合えるようにする。 ・発言に該当する楽器や曲の部分を楽譜上に示すことで、発言者の言いたいことが明確になるようにする。 									
ふかめる35分	2 2人と3人のグループで演奏する。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">児童A</th> <th style="width: 20%;">児童D</th> <th style="width: 20%;">児童B</th> <th style="width: 20%;">児童C</th> <th style="width: 20%;">児童E</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・好きな楽器でメロディを演奏する。</td> <td>・歌いながら、リズムに合わせて楽器を鳴らす。</td> <td>・キーボードでメロディを演奏する。</td> <td>・歌いながら、リズムに合わせて楽器を鳴らす。</td> <td>・トライアングルをリズムに合わせて打つ。</td> </tr> </tbody> </table>		児童A	児童D	児童B	児童C	児童E	・好きな楽器でメロディを演奏する。	・歌いながら、リズムに合わせて楽器を鳴らす。	・キーボードでメロディを演奏する。	・歌いながら、リズムに合わせて楽器を鳴らす。
児童A	児童D	児童B	児童C	児童E							
・好きな楽器でメロディを演奏する。	・歌いながら、リズムに合わせて楽器を鳴らす。	・キーボードでメロディを演奏する。	・歌いながら、リズムに合わせて楽器を鳴らす。	・トライアングルをリズムに合わせて打つ。							
ふりかえる5分	3 2人と3人の演奏を見合っ、気付いたことを伝え合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・間違えないように頑張った。 ・Bさんの声が大きくてよかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しかった。 ・曲に合わせて音が出せた。 ・Cさんの叩き方がよかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・間違えずに吹けた。 ・D君が楽しそうだったのがよかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・叩くところと休むところを気を付けた。 ・D君ががんばっていた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しかった。(カードで示す) 	<ul style="list-style-type: none"> ※自分の頑張ったことや他の子のよいところを発表することができたか。(発言、振り返り用紙より) 					
	4 熊手を使って、演奏に新しい音を加える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">新しいアイテム「熊手」を使って演奏してみよう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・各自で熊手でキーボードを押してみる。→ 同時に複数の音を出すのを楽しむ。→ よい響きを見つける。 ・メロディ楽器、リズム楽器、「熊手」(+キーボード)から、やりたい楽器を選び、5人で合奏する。 ・ゲストティーチャーの伊藤さんにメロディを担当してもらって合奏する。 ・伊藤さんのアドバイスを聞く。 	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; text-align: center;">ぐんぐんタイム</div> <ul style="list-style-type: none"> ・新しいアイテムとして「熊手」を提示することで、子どもたちの好奇心を刺激し、楽しみながら音の響きを感じられるようにする。 ・伊藤さんと一緒に合奏し、アドバイスをしてもらうことで、演奏を楽しむ気持ちを高められるようにする。 ※熊手で音を出す面白さを感じ、合奏を楽しむことができたか。(振り返り用紙より) 									
	5 本時の振り返りをする。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tbody> <tr> <td>・熊手で一度に3つの音を出せるのが楽しかった。</td> <td>・熊手が面白かった。(感想を聞き取って書く。)</td> <td>・熊手でドミソとソシレが出せて楽しかった。</td> <td>・熊手でドミソとソシレが出せて楽しかった。</td> <td>・「楽しくできたか。」「がんばったか。」をチェック用紙に記入する。</td> </tr> </tbody> </table>	・熊手で一度に3つの音を出せるのが楽しかった。	・熊手が面白かった。(感想を聞き取って書く。)	・熊手でドミソとソシレが出せて楽しかった。	・熊手でドミソとソシレが出せて楽しかった。	・「楽しくできたか。」「がんばったか。」をチェック用紙に記入する。	<ul style="list-style-type: none"> ・一緒に鳴らすとバンドらしくなった。 ・曲に合わせると合奏がよくなると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音が合うといい感じがする。 			
・熊手で一度に3つの音を出せるのが楽しかった。	・熊手が面白かった。(感想を聞き取って書く。)	・熊手でドミソとソシレが出せて楽しかった。	・熊手でドミソとソシレが出せて楽しかった。	・「楽しくできたか。」「がんばったか。」をチェック用紙に記入する。							

(4) 評価

いろいろな楽器の音や音の重なるの面白さを感じながら、みんな楽しく「山のポルカ」を演奏することができたか。

(5) 本時の視点

「ぐんぐんタイム」で、熊手を提示して好奇心を刺激したことは、音の重なるの面白さを感じながら、仲間と一緒に楽しく演奏するのに有効であったか。